

虹色



第6号



体験入学の夏休みの締め切りが迫っています！

前号で夏休みの体験入学の予定を掲載しました。前号を発行してから、とても多くの体験入学の申し込みがありました。2学期にも2度目が実施される学校もありますが、やはり余裕のある夏休みに訪問したいところですね。

一つ心配なのが体験入学への心構えです。学校生活に準ずるため、スマートフォンを持って行ったり、コンビニなどのお店でお菓子やジュースなどを購入したりすることのないようにお願いします。服装にも気をつけましょう。皆さんの行動を見ている人はたくさんいます。北中生としての自覚をもった行動に心掛けましょう。

発表 各高校の校内順位の決定方式

令和2年度愛知県公立高等学校入学者選抜（全日制課程）一般選抜における校内順位の決定方式が先日、新聞に掲載され、公表されました。

愛知県の公立高校は、入試の校内順位（受験者の順位）を決める際、当日点（22点×5教科＝110点満点）と内申点（5点×9教科＝45点満点）をほぼ同等に近づけるために、内申点を2倍して90点満点とし、「当日点＋内申点×2」で校内順位を決定します。当日点というのは、学力検査（筆記試験）の得点のことです。その際、後述する一部の子については、その順位を決定するための計算方法を学校ごとに選択できていることになっています。具体的には以下の3つの種類があります。

I 均等型（「内申点×2＋当日点」）

学校裁量 I（均等型）	
◆内申点 （調査書）	（5段階評価×9教科×2）＝ 90点
◆学力検査 （筆記試験）	22点×5教科＝ 110点

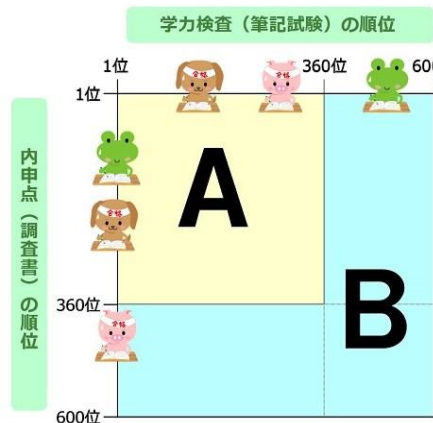
II 内申重視型（「内申点×2×1.5＋当日点」つまり、内申点を3倍する。）

学校裁量 II（内申重視型）	
◆内申点 （調査書）	（5段階評価×9教科×2）×1.5＝ 135点
◆学力検査 （筆記試験）	22点×5教科＝ 110点

III 実力重視型（「内申点×2＋当日点×1.5」）

学校裁量 III（実力重視型）	
◆内申点 （調査書）	（5段階評価×9教科×2）＝ 90点
◆学力検査 （筆記試験）	（22点×5教科）×1.5＝ 165点

「校内順位」というのは、同校を受験した生徒の入試における順位のこと、合格を決める順位付けになります。



例として、定員400名のカレッジ高校に、受験者が600名いたとします。

推薦合格者が40名いた場合、残り360名の枠を一般受験者が競うこととなります。

内申点と学力検査の順位が、ともに合格者枠内の者を「A」とし、その他の者を「B」とします。現実的には、内申点の上位360人と当日点の上位360人が完全に一致することなど起こりません。つまり、「A」だけでは合格枠「360」が埋まらないのです。また、「360-A」の残り枠があります。そこで、「B」の子たち（3～4割くらいじゃないかと言われていました）だけで「第二回戦」が行われます。「B」に入った子が、各高校があらかじめ選択した「学校裁量」によって再計算され、校内順位が決定していくこととなります。

各学校の校内順位の決定方式は、次号参照となります。